

第3次狭山市教育振興基本計画に掲げた施策の成果目標の点検評価表

基本目標 Ⅰ	確かな学力と時代の変化に対応する力の育成
施策 1	確かな学力の育成
目標項目	L-1 埼玉県学力・学習状況調査の平均正答率

実績値 (令和元年度)					令和6年度末数値 (小6及び中3)					目標値 (令和7年度)	
科目	小学校		中学校		科目	小学校		中学校		全科目で県平均 正答率を上回る	
	狭山市	埼玉県	狭山市	埼玉県		狭山市	埼玉県	狭山市	埼玉県		
国語	55.5	55.9	58.4	58.7	国語	55.0	56.7	67.2	66.4		
算数	66.1	66.6	-	-	算数	49.0	50.9	-	-		
数学	-	-	59.6	59.3	数学	-	-	59.9	57.5		
英語	-	-	56.6	56.1	英語	-	-	55.0	54.6		

令和6年度までの取り組み

- 県及び市教育委員会主催の各種研修への参加及び学校研究、学校指導訪問等によって、教員の授業力の向上を図った。
- 学力向上に向けて、学力向上ストラテジープランを各学校において策定し、目標達成に向けてPDCAサイクルにより進捗を管理した。
- 学校指導訪問において、令和元年度に改訂した狭山市学力向上茶レンジ・プランに基づいた授業を指導することにより教師の授業力の向上を図る。

目標値に対する達成状況

- 目標値よりも小学校は若干低く、中学校は若干高い数値となった。

今後の取り組み予定

- 学校指導訪問において、狭山市学力向上茶レンジ・プランに基づいた授業を指導することを継続して取り組み、教師の授業力の向上を図る。（市の重点として、特に提言6について全小中学校が取り組む。）
- 学力向上ストラテジープランに数値目標及び全国学調や県学調の自校の平均点等を掲載させ、定量的評価によるPDCAサイクルの管理に一層努める。
- 全国及び県の学力調査問題及び結果を活用するとともに、指導力向上を図る研修会を実施し、各校での結果を指導に生かす取り組みを行う。
- 令和元年度に開始した小学4年生を対象に実施する算数の学習支援事業を行い、家庭（学校外）における学習習慣を確立するとともに、基礎学力の定着・向上を図る。中学生には、さらに長期休業中に集中講義を行う。
- 令和3年度より導入した1人1台端末を活用した学習について授業力向上研究委員会を中心に研究し、学校での活用を推進する。
- 学力の伸びを大幅にUPさせた教員の指導技術を集め、全教職員に共有できるように図っていく。
- 家庭学習におけるAI型オンライン学習ドリル活用を推進する。
- 電子黒板を活用した授業づくりを推進する。

所管課

教育指導課

第3次狭山市教育振興基本計画に掲げた施策の成果目標の点検評価表

基本目標 Ⅰ

確かな学力と時代の変化に対応する力の育成

施策 1

確かな学力の育成

目標項目

L-2 全国学力・学習状況調査において、学校に行くのが楽しいと答えた児童生徒の割合

実績値 (令和元年度)

	小学校	中学校
狭山市	83.9	82.4
埼玉県	86.3	82.4
全国	85.8	81.9

令和6年度末数値

	小学校	中学校
狭山市	80.2	86.9
埼玉県	86.3	85.4
全国	84.8	83.8

目標値 (令和7年度)

県、全国平均値を上回る

令和6年度までの取り組み

- ・ 望ましい人間関係を築く力を培うため、児童生徒のコミュニケーション能力の育成に取り組んだ。
- ・ いじめ防止のため、児童生徒の人権感覚を育成するとともに、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に向けた組織的な取り組みを行った。
- ・ 学校の教育活動全体を通して、児童生徒に他人を思いやる心、善悪を判断する力や公共心を培うための取り組みを実施した。

目標値に対する達成状況

- ・ 目標値よりも小学校は若干低く、中学校は若干高い数値となった。

今後の取り組み予定

- ・ 研修等の充実により教職員の指導力向上を図り、児童生徒が学習の成果を実感できる授業の実践を推進する。
- ・ 「特別の教科道徳」及び特別活動における指導を通して、道徳性や社会性を養うと共に、集団の中で望ましい人間関係を築くことができる能力を育成する。
- ・ 「学校生活充実支援委員会」を発足し、児童生徒が安心して生活できる環境や支援方法について研究を推進する。
- ・ QUTテストや「人権感覚育成プログラム」を活用して、楽しい授業や学級づくりへとつながるよう、推進する。

所管課

教育指導課

第3次狭山市教育振興基本計画に掲げた施策の成果目標の点検評価表

基本目標 Ⅰ	確かな学力と時代の変化に対応する力の育成	
施策 2	時代の変化に対応した教育の推進	
目標項目	L-3 CEF R（セファール）のA1相当レベル以上の英語力を持った生徒の割合	
実績値 （令和元年度）	令和6年度末数値	目標値 （令和7年度）
55.0%	53.1%	全国の目標値 50.0%を上回る
令和6年度までの取り組み		
・民間学習塾と連携した中学生学習支援事業「さやまっ子・茶レンジスクール」の実施 ・英語検定料の公費負担（実用英語技能検定、中学3年生対象） ・民間企業と連携した「オンライン英語検定対策講座」を実施		
目標値に対する達成状況		
令和元年度末に達成		
今後の取り組み予定		
・令和3年度までの取り組みに加え、令和4年度開始の民間企業と連携した「オンライン英語検定対策講座」を実施し、中学卒業時のレベルである実用英語検定3級取得生徒を増やしていく。		
所管課		教育センター

第3次狭山市教育振興基本計画に掲げた施策の成果目標の点検評価表

基本目標 Ⅱ	豊かな心の育成と健康・体力の増進	
施策 1	豊かな心の育成	
目標項目	L-4 埼玉県学力・学習状況調査における規律ある態度の定着度	
実績値 (令和元年度)	令和6年度末数値	目標値 (令和7年度)
	85.9%	全項目80%以上
令和6年度までの取り組み		
児童生徒に基本的な生活習慣や学習習慣を身に付けさせ、規範意識を大切にし、社会生活の中で規律を守って行動できる態度の育成を図った。		
↓		
目標値に対する達成状況		
各学年12項目、小4～中3までの合計72項目中、目標達成は61項目であり、達成率は85.9%である。		
↓		
今後の取り組み予定		
「特別の教科道徳」の研究を継続する。 - 規範意識を向上するため、家庭や地域へ学校の道徳授業などの情報発信につとめ、家庭教育への普及を図る。 - あいさつについては、大きな声で元気よくというだけでなく、会釈やジェスチャーといった動作も身に付けられるようにしていく。 - 発表にICTを活用し、個別最適化を図る。		
所管課		教育指導課

埼玉県学力・学習状況調査における規律ある態度の定着度 参考資料

※ は、80%以上				令和6年度					
内容	項目			小4	小5	小6	中1	中2	中3
けじめのある生活ができる	1 時刻を守る	①登校時間	埼玉県（平均）	93.5	94.2	94.3	98.0	96.6	95.9
			狭山市	93.8	95.7	94.7	98.4	97.2	97.3
		②授業開始時刻	埼玉県（平均）	87.1	91.5	93.4	96.0	96.7	97.1
			狭山市	86.9	91.4	95.3	98.1	98.3	98.7
	2 頓身をするの回りの整理整	③靴そろえ	埼玉県（平均）	78.5	82.4	84.9	88.7	89.9	92.5
			狭山市	78.5	83.8	86.3	91.1	90.5	95.8
礼儀正しく人と接することができる	3 返進んであいさつや	⑤あいさつ	埼玉県（平均）	75.9	77.6	77.9	84.7	83.0	85.3
			狭山市	74.8	74.9	75.5	85.7	82.1	86.1
		⑥返事	埼玉県（平均）	91.6	91.6	90.1	91.4	91.6	93.2
			狭山市	88.4	90.2	88.8	92.4	90.5	95.3
	4 かていいをね身になつ言葉づ	⑦ていねいな言葉づかい	埼玉県（平均）	83.2	88.8	88.2	90.2	91.2	93.4
			狭山市	82.8	88.6	90.3	91.0	92.6	95.7
約束やきまりを守ることができる	5 る学習のきまりを守	⑨学習準備	埼玉県（平均）	80.4	85.7	86.2	91.6	91.7	93.9
			狭山市	80.3	87.3	88.8	92.8	93.3	95.2
		⑩話を聞き発表する	埼玉県（平均）	77.7	79.2	76.0	79.4	79.1	82.1
			狭山市	75.8	80.2	73.8	82.0	79.8	87.1
	6 る生活のきまりを守	⑪集団の場での態度	埼玉県（平均）	88.3	88.5	86.7	93.6	94.7	96.3
			狭山市	84.4	87.2	86.6	93.6	95.0	96.9
		⑫掃除・美化活動	埼玉県（平均）	89.5	89.6	87.9	88.0	87.5	89.1
			狭山市	90.3	89.7	88.6	91.8	89.3	94.2

第3次狭山市教育振興基本計画に掲げた施策の成果目標の点検評価表

基本目標 II	豊かな心の育成と健康・体力の増進	
施策 2	生徒指導の充実	
目標項目	L-5 いじめの解消率及び不登校児童生徒の学校復帰率	
実績値 (令和元年度)	令和6年度末数値	目標値 (令和7年度)
解消率 81.8% 学校復帰率 19.7%	解消率 85.7% 学校復帰率 20.7%	解消率 100% 学校復帰率 33.3%

令和6年度までの取り組み

- すべての小中学校で、いじめを含む生活アンケート、Q-Uテスト、二者相談等の実施により、アンテナを高くし早期発見・早期対応がなされた。
- 各校で取り組んでいる道徳教育によって、道徳的心情や道徳的实践力が培われた。また、自己有用感を高めるような活動が取り入れられた。学校では、いじめが疑わしい段階から認知できるよう、組織的に対応し、迅速に解決に至る努力を行っている。しかし、平成29年3月以降いじめ解消の定義が変更されたため、近年いじめ解消率は若干低下していたが、令和6年度は令和元年度（81.8%）より上回ることができた。
- 不登校児童生徒及びその保護者との面談を、教育センター相談員7名により、継続的・定期的実施した。さらに、各学校のスクールカウンセラー及びさやまっ子相談員・支援員と教育センターの学校課題解決支援員、相談員、適応指導教室指導員、スクールソーシャルワーカー、こども支援課との連携を密にすることで、相談・指導・支援の充実を図り、学校への復帰を促した。
- 茶レンジルーム「ひだまり」の支援体制を強化した。
- スペシャルサポートルーム活用を推進した。

目標値に対する達成状況

- いじめの解消率は、昨年度（92.3%）よりも若干低下した。
- 不登校児童生徒数の復帰率については、昨年度（26.3%）よりも若干低下した。

今後の取り組み予定

- 学校生活充実支援委員会での研究の成果を各学校に広め、学校での居場所づくり、絆づくり、復帰支援の充実を図っていく。
- 今後も教育センター相談員、学校課題解決支援員、適応指導教室指導員、スクールソーシャルワーカー、こども支援課等と学校との連携強化により、相談・指導の充実を図っていく。
- 茶レンジルーム「ひだまり」の支援体制を強化していく。
- スペシャルサポートルームの効果的な活用を推進する。

所管課

教育指導課

第3次狭山市教育振興基本計画に掲げた施策の成果目標の点検評価表

基本目標 II

豊かな心の育成と健康・体力の増進

施策 3

体力と健康の増進

目標項目

L-6 不足しがちな栄養素の充足率

実績値 (令和元年度)

	小学校	中学校
カルシウム	101%	94%
鉄	102%	99%
ビタミンC	137%	100%
食物繊維	96%	86%

令和6年度末数値

	小学校	中学校
カルシウム	99.8%	92.0%
鉄	102.0%	103.0%
ビタミンC	122.0%	100.0%
食物繊維	95.0%	95.0%

目標値 (令和7年度)

各種栄養素の充足率を
95%以上にする

令和6年度までの取り組み

中学校の不足しているカルシウムについては、7月、9月の2か月間に牛乳を250mlで提供し、シチューなどの献立には、脱脂粉乳などを入れカルシウムが摂れるような献立にした。食物繊維については、大豆製品や切り干し大根などの乾物を多く献立に取り入れた。

目標値に対する達成状況

不足しがちな栄養素については、物価高騰が続く中、国の摂取量基準が高いため、すべての栄養素での目標達成には至らなかったが、献立等を工夫しおおむね達成できている。

今後の取り組み予定

達成に至らなかった栄養素を中心に、新しい献立の試作等を実施し、目標値を達成できる献立作成に取り組む。

所管課

入間川学校給食センター

第3次狭山市教育振興基本計画に掲げた施策の成果目標の点検評価表

基本目標 Ⅱ	豊かな心の育成と健康・体力の増進	
施策 3	体力と健康の増進	
目標項目	L-7 新体力テストの5段階総合評価のうち上位3ランク（A・B・C）の児童生徒の割合	
実績値 （令和元年度）	令和6年度末数値	目標値 （令和7年度）
（小学校）81.8% （中学校）83.9%	（小学校）77.5% （中学校）79.2%	県の目標を上回る 小学校 80.0% 中学校 85.0%
令和6年度までの取り組み		
体力向上研究委員会が中心となり、新体力テストの結果分析と課題種目への取組、正しい測定方法の研究、授業研究、小学校を対象としたリズム体操の開発及び普及、中学校でも活用できるエアロビクスの要素を取り入れたリズム体操の開発と普及、そして教員や保護者向けの広報活動等に取り組んだ。		
目標値に対する達成状況		
小学校は昨年度（79.1%）から若干の低下、中学校は昨年度（76.9%）からの若干の増加という結果であった。		
今後の取り組み予定		
・総合評価において、小中学校男子の数値を向上させる。 ・狭山市及び西部教育事務所管内の課題種目の「立ち幅跳び」「ボール投げ」において、県平均値を上回る学年を増やす。 ・幼稚園・小学校低学年から、いろいろな運動に慣れ親しめるようにすることや、学びを実感できるような授業改善を行い、運動好きの児童生徒を増やし、体力向上につなげる。		
所管課		教育指導課

第3次狭山市教育振興基本計画に掲げた施策の成果目標の点検評価表

基本目標 Ⅲ	質が高く魅力ある教育環境の充実	
施策 4	学校施設の充実	
目標項目	L-8 学校施設の長寿命化改修の実施校数	
実績値 (令和元年度)	令和6年度末数値	目標値 (令和7年度)
0校	1校	1校
令和6年度までの取り組み		
令和3年8月に策定した「狭山市学校施設長寿命化計画」にもとづき、校舎等の長寿命化に資する改修設計、改修工事に取り組んでいる。		
目標値に対する達成状況		
令和6年度においては、中央中学校、入間野中学校の校舎、体育館、及び柏原中学校校舎の中規模修繕（外壁、屋上、内装等の改修）を実施し、入間野中学校については計画している修繕を完了した。		
今後の取り組み予定		
学校施設長寿命化計画に基づき、小・中学校の規模と配置の適正化に即しながら、学校施設の中長期的な維持管理コストの縮減や改修費用の平準化に努め、継続的な施設整備を行うことで学校施設に求められる教育機能を確保する。		
所管課		教育施設管理課

第3次狭山市教育振興基本計画に掲げた施策の成果目標の点検評価表

基本目標 Ⅲ	質が高く魅力ある教育環境の充実	
施策 4	学校施設の充実	
目標項目	L-9 小・中学校のトイレ環境整備の達成割合	
実績値 (令和元年度)	令和6年度末数値	目標値 (令和7年度)
43.5%	100%	100%
令和6年度までの取り組み		
快適な教育環境を確保するため、平成29年度から小中学校のトイレの洋式化を計画的に進め、令和3年度から中学校のトイレの洋式化に着手した。		
↓		
目標値に対する達成状況		
令和2年度までに小学校全校、令和4年度までに中学校全校の各校1系統のトイレの洋式化を実施し、目標を達成した。		
↓		
今後の取り組み予定		
令和4年度までに各校1系統のトイレ洋式化が完了したことにより、全小・中学校23校のトイレの洋式化が完了した。		
所管課		教育施設管理課